

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	1/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

1. 開会【企画財政部次長による開会】

省略（1. 開会については、別ファイルにまとめています）

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

省略（2. 市長あいさつについては、別ファイルにまとめています）

3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明

(1) 基本構想素案の概要説明

省略（3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明については、別ファイルにまとめています）

(2) 都市計画マスタープラン改定計画案の説明

省略（3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明については、別ファイルにまとめています）

4. 質疑

【司会】

ありがとうございました。説明が終わりましたので質問の時間を取りたいと思います。なお、冒頭ご説明申し上げましたけれど仮称第四次座間市総合計画の基本構想素案につきましては、市民の皆様方のご意見・ご要望等につきましては、4月1日より一ヶ月間の期間を設け、郵送・FAX・メール等により募集いたします。そのようなことから、ご質問につきましては、本日も説明させていただきました内容についてご質問をいただきたいと思っております。ご質問のある方は挙手をお願いしまして、マイクをお持ちしますので、要点をご発言願いたいと思っております。質問時間につきましては、約20分間程度の時間を用意させていただいております。それでは質問のある方、挙手をお願いいたします。

【質問者】

広野台から参りました〇〇と申します。私は子育てのサークルに携わっているものなのですが、若いお母さんたちの中で夫の仕事が大変になってきて保育園に入りたいという声があるのですが、待機児の問題。今、待機児解消とニュースでも言われていますが、座間の公立保育園の一歳児の定員枠などがすごく少ないように思われます。それで一年間の育児休業を取って、さて職場へ復帰したいと思った時に2人、3人くらいの定員枠だと待ってほしい、ということで入れないお母さんも現実に今回ありましたが、そういうことで、待機児解消についてどのようなお考えなのかを伺いたいです。

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	2/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

また、私は消費生活展にも関わっていて、明後日消費生活展をやりますが、今いろんな悪徳商法などの電話もかかってきて、消費者は不安もいっぱい募っていると思いますが、消費生活の分野の部門が商工観光課の中に入っているというのが、市民として詳しいことは知りませんが、私はとても不思議な感じがします。消費生活の部門が商工観光課に入っていることがとても不思議だということの一つ質問したいです。

あと人権・平和のところで「核兵器廃絶に向けた取り組みを進めます」とありますが、今世界の中ではオバマさんが演説していたその前からですが、本当に核兵器を一日でも早く廃絶しようということで、5月にニューヨークの国連でニューヨーク行動というものがありますが、私たち署名をいっぱい集めて国連へ持って行く活動もしているんですけど、この核兵器廃絶に向けた取り組みを進めるということについて具体的に座間市としてどういう取り組みがされるのかなということと、あと広島や長崎の市長さんたちと連携して一日も早い核兵器の廃絶ということで署名だとか、そういうものを市としても取り組んでいただけたらなと具体的に考えており、その辺りをお聞かせいただきたいなと思っています。

あと、この最初の子供の「わたしの座間」絵画コンクール」入賞作品というのを見るとすごく明るくて、ひまわりがいっぱい咲いていて、座間市民病院っていうのがきちんと書いてありますよね。本当に病院が少なくなっていますよね、座間の中で。中央病院だとかひばりが丘もなくなってしまっていて、こういう座間になったらいいなと思っていますので、医療のところでも、ぜひ病院作っていただけたらと思っていますので、よろしく願いいたします。

【司会】

はい、ありがとうございます。今大きく4点でしょうか。一つが保育園の待機児童の関係、それと消費生活の分野の関係が2点目、それと核兵器廃絶の関係が3点目、最後に病院の関係、全体で4点ございました。それについて分かる範囲の形でお答えしたいと思います。

【市役所】

保健福祉部長の田中と申します。2件ほど私のほうにご質問いただきました。

まず、待機児の解消策は、ということですが、現状女性の方の社会進出、それから就業形態の変化等。こういった背景に基づき保育園の利用を志望する方が増えているという状況の中で、待機児も当然増えているという状況でございます。

この辺につきましては、22年度においても、やはり施設整備等をされる保育園もございます。その中で施設の整備等に合わせた定員枠の拡大等を22年度は計画を立てているところでございます。今後こういった施設整備等に合わせ、待機児童の解消策を図っていきたいと考えております。

また、もう一点、病院の関係です。確かに前回の懇談会においても市内に病院が少ないという意見は各地区でいただいています。現状、市内では大きな病院も従来から比べますと3つの病院がなくなった状態でございます。一番皆さんが心配されるのは、救急時の病院がないとか、そう言ったところでございますが、従来座間と綾瀬市の二市で運営していた救急病院の関係に

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	3/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

についても、やはりさらに広域的な運用が求められており、医療資源が少ないという現状がございますが、広域的に連携をした中で救急等の医療関係についても確保していきたいと考えております。以上です。

【市役所】

環境経済部の本多と申します。よろしく申し上げます。消費生活展の関係で商工観光課にあるのはおかしいということでご質問いただきました。組織につきましては前回の組織改正の時に今まで広聴相談課にありましたものが消費生活の部分につきましては、商工観光課に移っております。これにつきましては、消費生活の調査等商店会を対象にするということで、商店会の所管部門である商工観光課で受け持ったところでございます。そういう内容で変更になったものでございますので、また組織変更等ありました時点では、今の分かっている体制は神奈川県内で1市だけということでございますので、見直しをさせていただきたいとは考えております。

【市役所】

市民部長の清田と申します。核兵器廃絶に向けての行動ということで、ご案内のように座間市におきましては、昭和32年に原水爆禁止協議会を立ち上げまして思想・信条・政治的立場等を超えまして、本市独自の運動として原水爆禁止運動展開しております。毎年、運動につきましては5月ごろ総会を行います。その中で十分議論して展開をしておりますのでご理解賜りたいと思います。

【司会】

ありがとうございました。また質問ある方申し上げます。

【質問者】

基本的な所を数点お尋ねしたい。いろいろ膨大な項目を網羅した計画で、これを検討されるのも大変かと思いますが、それくらいに。例えば、相模原市は政令市で大きな合併をいたしました。この周辺にもいろいろな市がありますが、こういった構想がある計画を実現させていくためには、合併という問題は別にしても、都市間の連携といったことが非常に重要だと考えておりますが、その点をこの計画策定の中でどの程度検討しているかということが1点。

それから2点目、これは考え方がいろいろあるわけですが、座間市の米軍基地について、やはりいろいろあっても、大きな地域を米軍が占めていると。経済的な関係もございますが、こういった基地問題をこの構想とどう関連付けて考えておられるか、これが2点目。

3点目は、これだけ膨大な計画を実現していくにはかなり財政的な裏づけが必要であると。財政計画見ますと、市の財政の悪化はある程度くいとめられておりますが、ここに盛り込まれたものを具体的に実施していくとなると財政上の配備をどういうふうにご考えておられますか。この3点についてお答えをいただきたい。

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	4/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

【司会】

ありがとうございました。今3点ほどお伺いしました。まず確認の意味で1点目。都市間の連携についてが1点目。2点目が今回の基本構想に関する米軍基地の問題が2点目、3点目が今回の基本構想実現に向けた財政計画の関係が3点目ということで、承りました。

【市役所】

秘書室長の今福と申します。私、基地の方の担当をいたしております、まず、この概要版をまずご覧いただきたいと思いますが、施策の37番のところに基地対策という項目がございます。これには、重点施策としましてキャンプ座間の一部返還について多角的に検討し有効利用を図ります、と。これだけの記述でございますが、基本的な基地対策に関する姿勢といたしましては、基地の整理・縮小・返還、これが基本姿勢となっております。その返還とともに負担の軽減策、これを国の方に求めていく。これが基本的な姿勢でございます。今この概要版には書いておりませんが、そういった基本姿勢の方は構想の方にきちんと位置づけさせていただく姿勢ですので、ご理解をいただきたいと思っております。

【市役所】

企画財政部長の宮代です。私のほうから、財政の裏づけという点でご質問がございました。今回の総合計画については、策定方針の中に位置付けてございます、この計画と、裏づけとなる財政が、セットで当然考えなければ、せっかく計画を立てても、絵に描いた餅になります。従いまして、今度の計画は、大きく基本姿勢の中に3つ掲げて、その中で、今申し上げました計画と、予算、それから当然計画には人の配置、組織が必要になります。こういったものを組み合わせて、今回の計画を案として示しております。

では、具体的にこの財政の裏づけはどうするのかということ、今後予定しております総合計画の実施計画というのが、具体的に計画をしております。その実施計画の中で、今、チェックしている財政推計をもとに割り振りをしていきたい、ということで現在考えていますので、ご理解いただきたいと思っております。

【市役所】(小俣副市長)

最初の質問にありました都市間の連携。これは非常に重要なお話だったと思っております。

例えば、ごみ処理は海老名市、座間市、綾瀬市3市で高座施設組合というところで処理しています。これは広域行政、一部事務組合という形で、3市でお金出し合っていてやっている、場所は海老名市にお世話になっている、こういうこともそうだと思います。

それからもう一つ同じ一部事務組合で、斎場をやっております。この斎場はこの3市に大和市を入れて行っておりますし、さらに、さっき保健福祉部長からお話ありましたように、救急医療、広域でやっておりますので、座間・綾瀬の話出ましたけど、さらに広い区域で緊急の広域医療体制というものもやっております。

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	5/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

また、最近の話題では消防の広域化ということで、神奈川県も精力的に進めておりますが、消防も、三本の矢じゃないですけど力を束ねてやったほうが効率的だろう、ということでそういうことも行われています。

行政の中では従来から神奈川県の中核地区で色々な行政の横の繋がりを持っていますので、例えば障害者の就労の関係だとか、福祉の面等、一緒にできるようなことがあればそれをやっていきたい。特に施設など作ってやる場合は、1市に一つなくてもいいものもこれから出てくると思いますね。したがって、そういうところを効率化していこう。これは大事なお話だったと思います。ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございました。時間も少ないのですが、あと一名ぐらいの方をお願いします。

【質問者】

3点ほど。

ひとつは、基本的なスタンスについて。人口減少ということを用意しているようですが、私は人口減少させないような方策を出してもらいたい。これがひとつ。根本的なもの。

それからあとひとつは小田急線の急行停車駅。この問題、この前も出ていたと思いますけれど、多分、市長さんはその辺のことをお考えの上で、栗原地区の農地をなんとか市街化に踏み入れるということを市長さんはお考えであろう。私はそういう風ににらんでいます。従って、道路の横軸と縦軸で広野大塚線、これを取り上げてらっしゃる。これは、私は非常に高く評価したいと思っています。

あともう一つが、観光面なのですが。基地とも絡んできますけど、私は、基地は基地でいいと思う。その分国から補助をいただければ、財政も潤ってくるということと、あそこで働いている人の職を確保できているわけです。だからそのままでもいいと思います。あと、観光として、富士山公園が雑木になっていますが、非常にもったいない。あそこを花の咲く公園にして相武台の駅で降りてあそこに方々から観光客が集まる。こういう具合に考えていただければなおありがたいと。

以上でございます。宜しく。

【司会】

最後にご意見いただきました。まず1点目が、人口減少にかかることについての関係が1点。2番目の小田急線の急行停車にかかる関係で、広野大塚線の関係については意見としていただいた形でよろしいでしょうか。最後に、観光として富士山公園の活性をとということで、大きく2点ご意見いただきたいと思っています。

【市役所】

都市部長の和田と申します。どうぞ宜しくおねがいします。私の方では観光という観点から

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	6/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

富士山公園の活用ということで、花の咲く公園としては、というご意見だと思います。富士山公園、大変斜面の多い公園。斜面のところにある公園でして、敷地面積的にはわりと広いのですがあまり活用はされていない。確かに活用ではしっかり考えていかなきゃいけないと思っております。そういう中で、例えば花の咲く公園はいいのではないか、という提案をいただきました。貴重なご意見としていただきたいと思っております。

【市役所】(宮代企画財政部長)

私の方からは、最初にご質問のありました人口減少についてお答えいたします。もっと増やすような政策を打つべきということだと思います。今回のお示した案件については、いわゆる座間の地形から、いわゆる都市的な部分で、これがなかなか開発できる部分がなくなっている状況で推計しております。こちらの推計については、いわゆる国が毎年人口推計をしているわけですが、その方法により、今回は推計させていただきました。従いまして、今言いました結果的に人口が増えれば非常にいいと思いますが、先ほど観光の関係でも話がありましたように、魅力ある座間をつくれれば、もうちょっと人口は増加してくると思いますので、その辺については、貴重なご意見として承りたいと思います。

【司会】

ありがとうございました。質問についてはたくさんあると思いますが時間が参りましたので最後に…。

【質問者】

勝手に終わらせないで。質問があるから。さっき病院の話出たじゃないですか。病院のことですが、私、去年から癇癇発作を起こして救急外来で救急車で運ばれましたが、運ばれた先が綾瀬厚生病院でしたが、あそこに夜運ばれても帰りの交通の便がありませんよね？ 夜中そこに運ばれてもタクシーすらないでしょ。そういうことを考えると、あまり遠いところを救急地点にされても困るし、じゃあ座間市内の救急があるではないか、休日夜間のセンターがあるだろうと思われるかもしれないけど、結局役に立たない。全然診てもらえない。風邪程度で行けば診てくれるだろうけど、ちょっと大きめの病気みたいな感じで行けば、すぐ他の病院に回される。海老名行け、綾瀬行けて。それであればもう少し相武台病院があるじゃないですか、あの辺の補助をして、座間市で良くしていくとかそういうことを考えていったらどうでしょうか？

【司会】

ありがとうございました。夜間関係の病院の関係の質問でしたので、これに関して回答をお願いします。

【市役所】(田中保健福祉部長)

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	7/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

病院関係についてご質問いただいたのですが、一般的には医療資源が市内に多ければいいのですが、通常開設している診療所、かかりつけの医者というのが、まずは地域に点在してございます。さらに、もうちょっと大きな規模で二次病院というお話と考えるとございますが、これが市内に従来5つありました病院が3つ減って2つになって、さらには近隣では綾瀬においても従来2つあったのが1つになった。こういった医療資源が今枯渇と言いますか、少なくなっている状況であることが、2市ではこういった夜間救急病院が維持できなかつたのが現状でございます。それをさらに、医療資源を求めて近隣の海老名市などに病院を求めて、広域で順番を取って運用している状況でございます。ご意見いただいた通りすぐ近くに病院があるのが一番安心することではございますが、この辺は今現状・近隣含めて医療資源の確保が求められていますので、現状は広域で運用する、その辺はご理解いただきたいと存じています。

【質問者】

でもその途中で何かあったらどうするの？例えばお年寄りが倒れるなど、いろいろあるわけじゃない？交通の便がすごく悪い。お年寄りや子供は早く診てもらいたい。若い人みたいに動けるわけでもないのだから、今すぐにどうにかしろというわけじゃないけれど、長い目で見たらそういう方向性も考えてくれないと困ると思う。市長はどう思いますか？みなさんだつて急に病気になったりしますし。

5. 市長による総括

【市長】

では、その話も含めてまとめに入ります。それでは、今医療の関係についてはどちらからもいただいている話なので、私の方からお話を申し上げます。今、保健福祉部長も申しましたけど、市民の感覚、私の感覚からしてもおっしゃるとおりです。実際に消防の方で救急隊が3隊ございます。もう1隊増隊しろと言う声も出ている。なぜかという、今、広域の医療の体制というのが、座間市単独でやることができない。これは国の制度の中で、先ほど行政の広域化という部分、清掃だとか斎場の関係だとかの話をしましたけど、例えば、消防も広域化をなさいというような指導が来ており、大和・綾瀬・座間・海老名この辺りに共通でできることをやりなさい、というような話がございます。医療に関してはこの4市大和・綾瀬・座間・海老名さらには川向こうの厚木・愛川・清川、これが一つの国が定める広域の医療圏という一つの括りがあり、この中において、医療についてお互い連携してやっていきなさいということになる。その中で、当面市内に今病院が2つしかございませんから、何かあった場合座間市内の病院で対応できないものについては、その広域医療圏の中で対応していただける二次病院を探して、私どもの救急車がそちらに患者さんを運ぶという形になっております。そうしたことからご指摘の部分について綾瀬の厚生病院に運ばれたという経過でないかと思いますが、ことによっては川向こうの厚木の方の、例えば県立厚木病院だとかさらには東名厚木病院ですとか、こういったところにまで救急の場合対応して、私どもで運ばせていただくこともある。では、なぜそういうことになるのか。私たち自身もそういったお話をいっぱいいただいており、何とか市内に病院が欲しいし、病院を誘致を

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	8/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

したいと思っているわけです。ところがこの病院、過去5つあったうちの3つが市外に出るなり廃業するなりになったという風にお話申し上げましたけれども、過去座間の厚生病院、座間中央病院、さらにひばりが丘病院があったのですが、ご存知の通り一つは廃業、一つはかしわ台の方に移転した。それから座間厚生病院については救急対応をしないということになってしまいました。では市民病院を作ればいいのか、というお話もいただきます。これは大変な財政的な課題があります。隣の大和市が市民病院持っていますが、大きな財政的負担があつて、大変な思いをしています。これは全国的に見ても、例えば銚子市の話があつたと思いますが、やはり市の病院の維持そして医療スタッフの確保ということで大変なご苦勞をされて、それが街をあげての大きな議論となることもあります。そうしたことから、いろいろな部分から医療資源をとということで、病院の誘致の関係などの取り組みをしていますが、まず、先ほど人口を減らすのではなく増やしてというお話もありましたけど、すでに座間市内の市街化区域の中での都市的な土地利用というものが、直近の2005年の数値で92%までが開発をされ利用されています。こうした中で一定の大きさの病院を誘致するというのも、地権者の方の同意も必要ですし、またそうした部分での大変な苦勞があるわけです。もう一つ大きな障害となっているのが、広域の医療圏と指定されている5市1町1村、ここが病床過剰地域、大きな括りの中で病床過剰地域という指定を受けています。この中にもう病院はいりませんという指定になってしまっている。ですから、私も今病院を誘致しようとする、この病床過剰地域という指定をまず国に取っ払ってもらわないといけない。それがないと病院を誘致することもできない。ですからこれは今、県に対して、国に対して「そういう姿勢は現状に即していません、市民感覚からすれば市の中に病院がないということが大変危機的な状況です、これをなんとか撤廃をしていただきたい」という要望を毎年、毎年行っています。こうした中で、これをまず実現をしていただきたい。当然これは皆さんのお感じになっている部分については、この基本構想の素案、今日概要版ですけれども、基本構想の中にきちんと謳いこんでおります。それから、そういった一つ一つの行動についても実施計画という部分。これは基本構想ですから、具体的な施策として落とし込んでいく、実施計画の部分にも当然謳い込みをさせていただき、さらにこれについて計画期間を4ヵ年として2ヵ年ごとの計画の変更というもの、現物に即した中での対応をやるということも、この中に示しております。

そうした中で、私自身が行政の立場で一番ほしいのは病院です。病院が近くにあれば、例えば先ほどの消防の救急隊の関係も、近くにあれば近くにお届けして、お連れ申し上げてすぐ帰ってくる事ができる。そして次の対応ができる。ところが、遠隔地に病院があればあるほど、これについての対応というのも大変です。ですから、おっしゃることはご最もですから、今後そういったお声どちらでもいただきます、真剣に取り組んでまいりますので、そのように受け止めをお願いしたいと思います。

それから、いろんな前向きな部分、そしてなるほどと思う意見をいただきました。例えば人口を減らさないように、全くそうだと思う。日本全体が少子化社会、高齢化社会、高齢化してなお且つ子供が産まれてこない。実際亡くなる方よりも産まれる方のほうが少ないという状況になってきているということ自体が大変な国家的な課題となっているわけですし、その中で、社会的な動きの中で、人をいかに自分たちのまちに留め置くのかということのも、やはり都市間競争になって

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	9/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

くると思う。やはり、これについての取り組みも大変重要な課題であるわけですが、先ほどもおっしゃいましたが、とにかく市街化区域の中での都市的土地利用は92%を占めてしまっている現実と、座間市の人口密度というものが県内においても川崎、横浜、大和に次いで4番目となっています。自然あふれる座間なんて言われますが、実は開発がかなり進んでしまっている部分があります。その中で、この狭い17.58k㎡という面積をいかに有効活用しながら、街の活力を高めるかというのが大切になるので、そうした部分での知恵を絞った部分をこの中に計画としていろいろと盛り込んでおります。

急行停車駅の話もございました。隣の海老名ではロマンスカーを停めるということで大変な署名活動をされ、私どもも海老名に近い新田宿、四ツ谷の皆さんですとかが署名に応じられたりとか、綾瀬の皆さんが署名に応じられたりですとか、23万人から署名を集められてロマンスカーを停める動きが行われていますが、私どもとしても、それは当然相武台前の駅というのが、待避線もある駅でございますし、将来に渡ってやはり座間市の一つの玄関として、なんらかの急行停車の部分も含め小田急にお考えいただければと思うわけですが、これも相手があるもので。私どもの想いというものをきちんと受け止めていただけるような行動をとっていきたいと思います。

観光面の話もいただきました。こうした点についても、このまち自身が持っている、本当に狭いまちでございますが、資産というものを有効にお互い生かしあうことで、まち自体の魅力を作っていく。それによって人口減少を食い止める、人口増加をきたす。こういうことも必要になると思いますし、こういった部分もやはりこの中できちんと施策に謳い込んで取り組みをして参りたいと思います。

それから、先ほどの話に戻りますが、広域連携の関係については、これもおっしゃる通りで、医療、清掃、消防、斎場の関係もそうですし。あと、これは課題としてどうなるか、新政権の下で分からないのですが、後期高齢者の医療の関係も、広域連携という部分では神奈川県全体での取り組みとして今やっています。やはり、きめ細かく地域単位で一つの小さな基礎自治体として、きめ細かく取り組むべき課題と、広域連携の中で費用対効果という部分をきちんと図りながら、より良いサービスというものを、安くできるものについては広域でやっていくと。この2つを取り入れながらやっていくことが今後行政経営で必要になるわけで、それについては十分に留意してもらおう。この中で取り組みを進めていきたいと思います。

さらに、財政の関係もご指摘いただきました。これもご最もだと思います。特に第一回の地域別懇談会の際に、座間市は金がないじゃないか、財政が厳しいじゃないか、どうするのか、というご指摘も数々いただきました。こうした中で、今回改めてこれまでの第3期総合計画、その前の第2次の部分、そのころからの一番象徴的な部分での市債の残高の関係などの資料のお示しいたしました。これまでの取り組みのなかでやはり厳しいものは厳しかったですが、やはり譲るを制する県内他市と比べても、国内他のような自治体と比べても、これまで我慢してきた部分でかなりの健全化が図られている部分もございます。そうしたものを今後に向けて、競合他市と比べれば一つの択一性だと、私どもは認識しながら、この取り組みの原資としてやっていきたいと思っております。

そうした課題もろもろございますけど、今日あくまで素案の中の概要版ということでお示し申

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	10/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

上げましたけど、そのあたりを含めて構想素案百九十何ページになるというものでございますけど、ぜひとも関心をお持ちの皆様にお集まりいただいていると思いますので、4月の1日以降新年度になりましたら、お目通しをいただき、更なるご意見・ご指摘を賜りたいと思います。

また、具体的な実施については、繰り返しになりますが、10年間の年次の中で、5年程度をもって、これについても時代の激しい変化に応じて変えるべきものは変える。さらに実施計画については計画期間を4年としながら、2カ年ごとのローリング、変更というものを改訂をしながら、現実に則した対応を図って参りたいと思っています。

そういった概要でございますが、今回の総合計画については、私から申すのも難んですけども、さまざまな取り組みに多面的な意見集約の場を設けさせていただき、そうした内容をこれまで一年近くにわたって整理をし、落とし込みをさせていただきました。どうか市民協働で作る総合計画案ということで、皆さんご理解いただきながら共にすすめて参りたいと思います。どうか、更なるこれから基本構想の最終的なまとめに向けて、またご指導・ご指摘、そしてアドバイスを賜ってまいりたいと思います。今日は大変夜の遅い時間にご参集いただきまして本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。御礼に代えてのご挨拶と致します。

【司会】

ありがとうございました。遠藤座間市長より総括的なまとめをさせていただきました。ご意見等につきましては先ほど市長からもありましたように、4月1日から一ヶ月間パブリックコメントを募集しておりますので、その中でどしどしご意見等を承りたいと思っております。それでは時間まいりましたのでこれにて第二回…

【質問者】

まだ15分ある。さっきから聞いてれば時間がない時間がない。懇談会でしょ。21時閉会でしょ。あなたさっきから時間がない時間がないっておっしゃっている。懇談会なら時間を十分とってやればいいじゃないか。どういう目的で司会やっているの。時間が早く終わるのが司会者の役目でしょうか。市長もそういう時注意すべきじゃないか。懇談会でみなさんのご意見を承ったことを再三おっしゃっていた。15分も前に閉会する。どういう懇談会ですか。

【市役所】

わかりました。今後とも勉強させていただきます。それでは、時間まで市長の挨拶をもって終了いたしたいと思っておりますので、今後につきましてはこれで終わりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【質問者】

質問があります。財政上の問題が一番私は心配です。書かれていることは非常に盛りだくさんで、市民の要望に答えるものは多々ある。それをなんとか行政として応えていきたい。そういうお気持ちも理解できる。けどもない袖は振れないわけです。民主党ではないにしても、あれも

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	11/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

やります、これもやります、やってみると財源的な裏づけはない。そういうことでは最後に困るのは市民です。先ほど人口問題も出ましたが、人口も想定される目標人口がある程度算出されるわけです。そこから出てくる市民税の問題とか、こういった問題を合わせておおよその財政的な規模は想定できると思いますね。そういったものを元に、ここまでならできる、ということで絞込みをいろんな形でやっていただきたい。それをぜひ要望しておきます。

【市長】

ありがとうございます。まったくおっしゃる通りでございます。それについては、今先ほど企画財政部長からもお話申し上げましたように、これの実施計画の実現に向けての財政計画についても、今同時進行に検討しており、それを明らかにいたしますので、よくご覧になっていただいて、お考えをまた色々とおアドバイスいただきたいと思います。

今おっしゃっていただいた部分での、国と地方の関係が実はあるわけで、私ども今回の資料の中で、子ども手当の件でいわゆる扶助的な部分が上がったということがあります。これは市の財政については、自主財源の部分と依存財源の部分、すなわち国からこの仕事をやりなさいと任された部分について国が財政的な措置をしてくる。今回の子ども手当に関しても全額国庫負担ですよ、ということで措置をされてくるわけですけど、こういったものはいろいろと複雑に織り交ぜられて一般会計、特別会計の予算が決まってくるわけです。そのあたりも含めて、今回の政権交代ではないですが、過去とはまったく違った方向に国の政策が変わってくれば、当然私どもの政策も変えていかざるをえない部分も出てきます。そうした部分も逐次、きちんとフレキシブルに対応しながらこれやっていかなければいけません。この総合計画自体を金科玉条として取り組むことは、私は非常に危険だと思っていますし、その中におきまして、先ほども申しあげましたように、現実をきちんと踏まえながらその時々ニーズ、それから国の施策、県の施策との整合性を取りながら取り組みを進めてまいりたいと思いますので、どうかご理解をお願いしたいと思います。

【司会】

ありがとうございました。

【質問者】

あともう一つだけ。この素案のここに出されている都市計画(マスタープラン)、言葉が同じ部分がありますが、できるだけ共通化された方が良いのではないのでしょうか。特に7ページの都市づくり目標と目標展開。ここのところをもう少し言葉を共通化していかないと、どのプロセスを喋っているか分からない。だから是非この計画を立てられている所、見やすいようにしていかないと、都市計画プラン単独で説明を受け、また、この説明を受け、最終的には目標値、さっきの財政の問題があったんでしょけど、財政はそのときどれだけ投資するか、ということを実体的にやらないと、そのプロセスをマネジメントできないと思います。ですから、是非この素案の概要とこちらの都市プランで書かれていることのプロセスも明確にすることと、言葉を定義され

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	12/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

ていったほうが、より有効になるのではないかと思います。

【司会】

ありがとうございます。この基本構想の方と都市マスタープランとの関係の整合性。あと言葉関係、また見やすく、分かりやすくのご要望いただきましたので、担当の方でもう一度精査させていただきます。

【質問者】

された方がいいかと思いますし、番地を決めたり、表示。座間はどこになにかあるかということが表示で皆さんが分かるようにさせるのが一番大事だと思います。その表示の際の言葉が共通化していないと何を表現しているのか分からなくなってしまうので、是非、表現だとか定義だとか明確にさせて、集約されてきているでしょうけど、言葉は共通化してかないと、目的の達成度が明確にならないと思うので。

【司会】

ありがとうございます。

【質問者】

先ほど、病院、救急体制の病院の話ができましたね。話に出てくるのは、(南に)下がっていかないといけないのですね。海老名とか綾瀬とか厚木とか清川とか愛川とか。全部下がっていく話なの。そうではなくて座間の近くには相模原がある。相模原には北里病院もあるし国立病院などもあるわけです。その辺を有効に使えばいいのではないのでしょうか。私はそう思います。それできないのかどうか。

【市役所】

救急病院の活動のエリアというのが、先ほど来申し上げている県央地域という形のなかで、さらに二次医療圏、今言われたような病院は圏域がございませう。これが基本的には座間の場合、隣の海老名市、綾瀬市、大和市が入っています。この中で、最低限救急の輪番が組めればよろしいのですが、この中でも組めないといった状況も現実には発生しております。さらには、厚木市の方の救急病院に日数的はお世話になっているということもございませうので、今ご提言いただきました、例えば大型の病院で北里病院ですとか、そういったものについては、二次医療圏とはまた別の(三次)さらに大きな病院ということでございませうので、基本的には4市の中で広域の順番を回しているという状況でございませうので。

【質問者】

相模原の病院とはチームを作れないということですか。

件名	第2回地域別懇談会【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	13/13
日時	平成22年3月17日(水) 19:00~21:00	場所	相武台コミュニティセンター

【市役所】

二次の救急との医療圏としては相模原との連携は基本的には無いということでございます。

【質問者】

しかし、例えば座間市の体育館には相模原の人がいっぱい来ています。なぜ、相模原からいっぱい来ているのかというと、非常に使いやすいし、駅からも近い。だから、相模原からもいっぱいくる。その逆にこっちから、あなたの市には大きい病院がたくさんあるではないか、座間市で利用させてほしいって言っていけば良いのではないかと私は思います。国から言われるからではなくて、地域主権に基づいてやっていけばいいと思う。

【質問者】

相模原と合併したほうがいい。そういうことを考えているの？

【市役所】

病院の関係については今申しあげた通りの圏域と言いますか。そういった中で各市が運営しているという部分をご理解していただきたい。

【質問者】

そんなものは取っ払った方がいいです。相模原の方に積極的に働きかけなさい。これも一つの案ですね。

【司会】

貴重なご意見ありがとうございました。本日のご意見につきましては受け止めさせていただき、4月1日からパブリックコメントを一ヶ月間募集いたしますので、その中で忌憚のないご意見をいただければ思っております。以上をもちまして、本日の第二回地域別懇談会を終わらせていただきたいと思います。誠にありがとうございました。